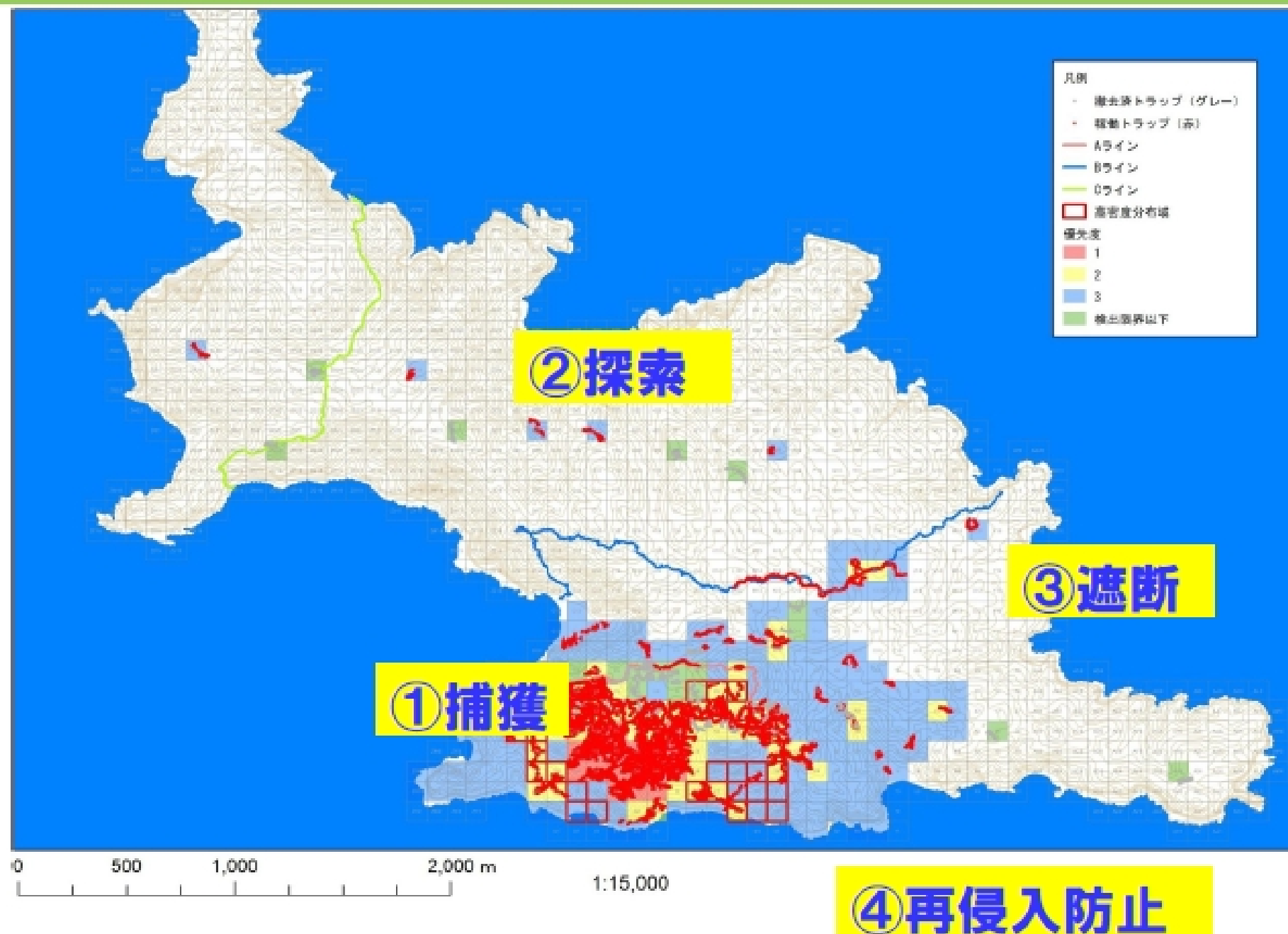
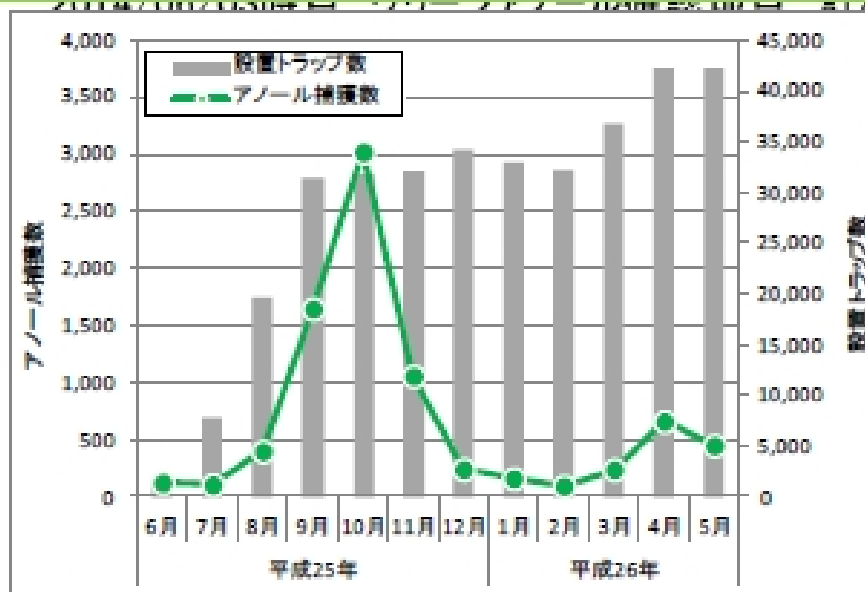


兄島のアノール防除の基本的な方針

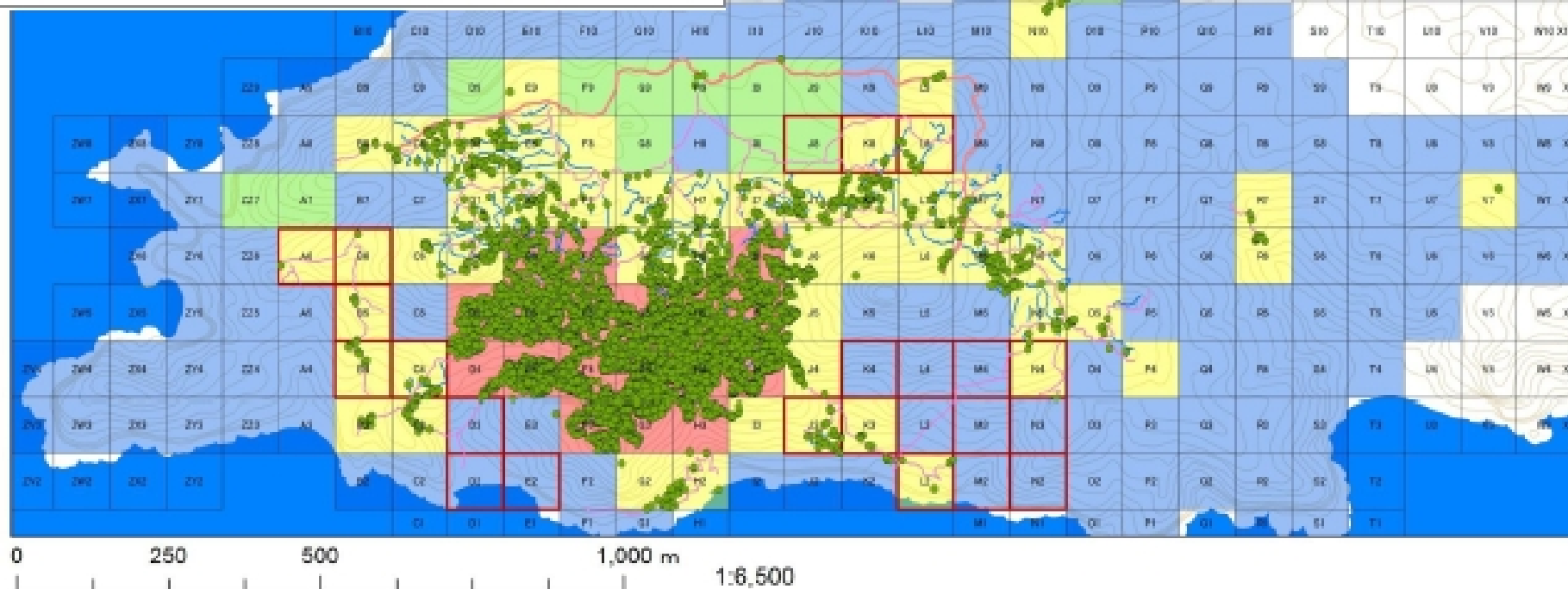
資料4-1



捕獲:アノール捕獲状況



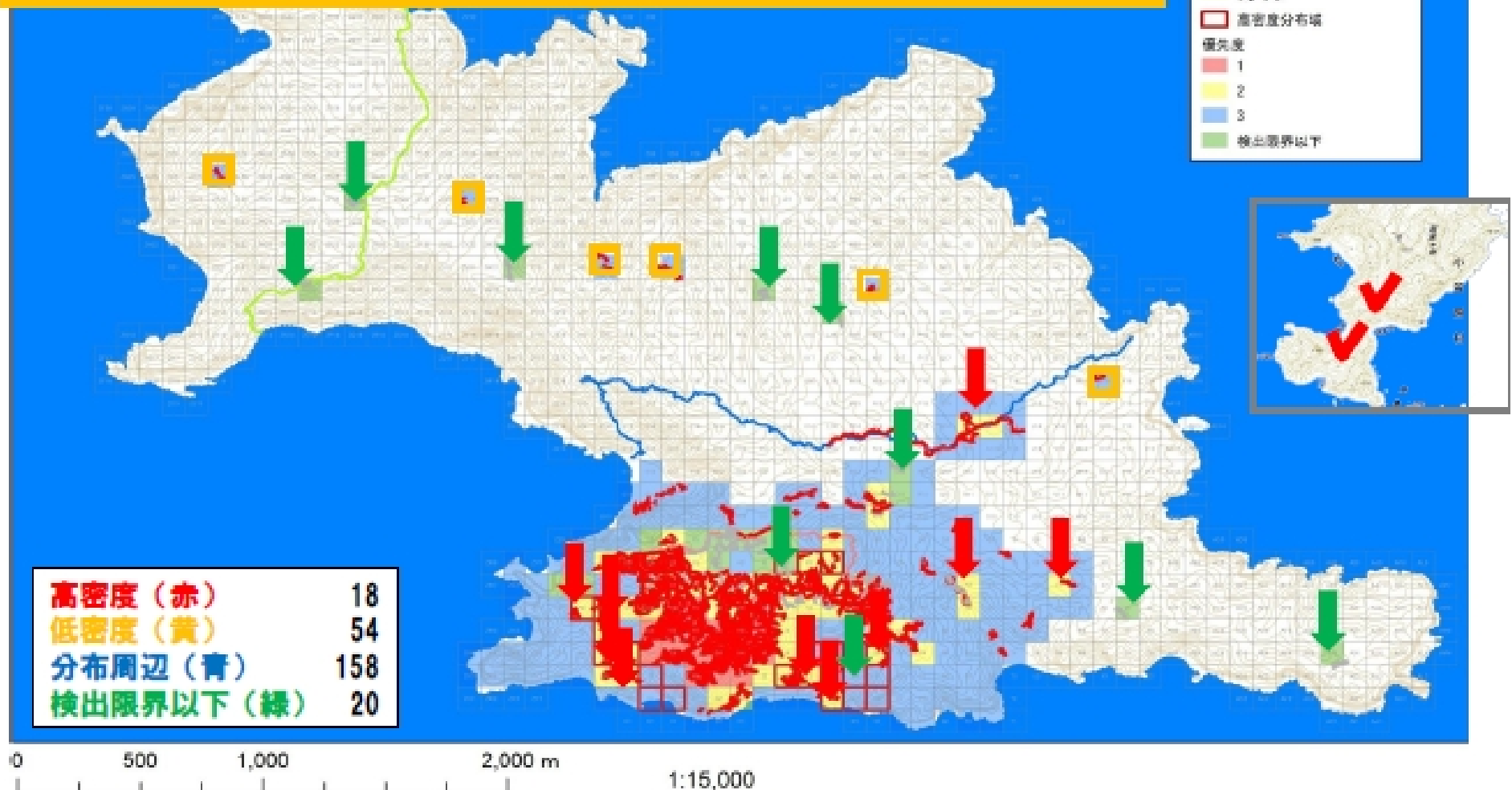
- ・現在、41,894個のトラップが稼働中。
- ・全トラップ、2週間に1度の頻度で点検できるように、約25人体制で対応中
- ・アノール捕獲数は、8,621個体（6/5時点）



探索：周辺部探索、広域センサス

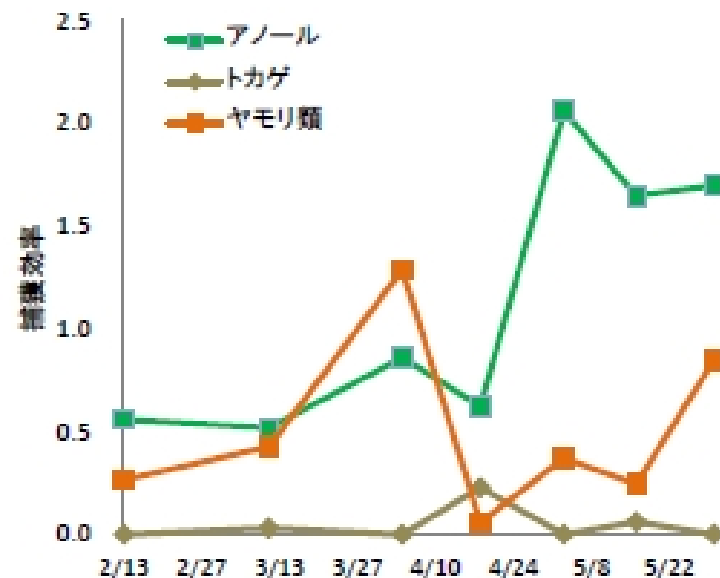
- ・高密度域隣接、分布域外縁、広域の、計40メッシュで追加センサス。
- ・150トラップ/メッシュで1回/2週間の頻度のモニタリング。

検出限界以下:12 新発見:17 点検中:7 既検出:4



再侵入防止：宮之浜における対策

二見港周辺の港湾地域に加え、最北部の宮之浜対策をボランティアから引き継ぎ。



設置個数126個

アノール169頭

(2月:19, 3月:17, 4月:37, 5月:96.)

126個で30-40頭/2週の捕獲

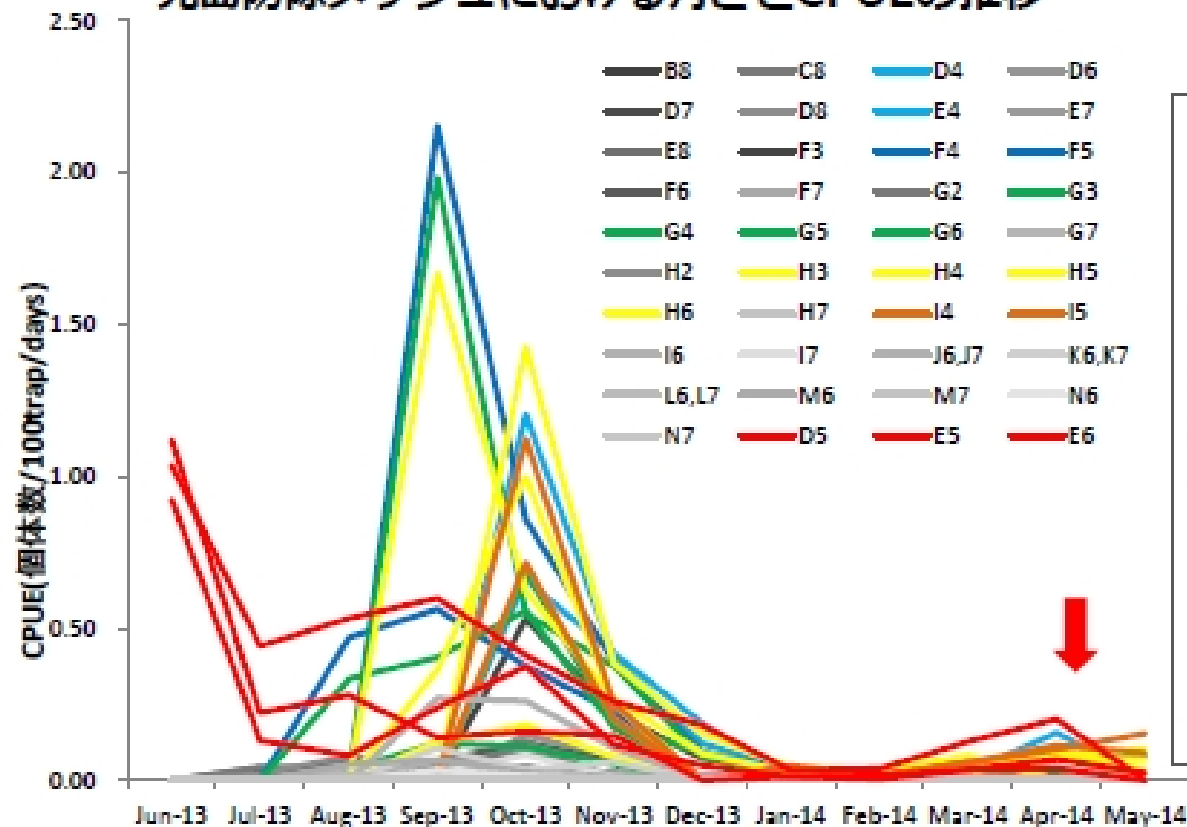
(現在の兄島の10~100倍)

分析：継続防除の効果

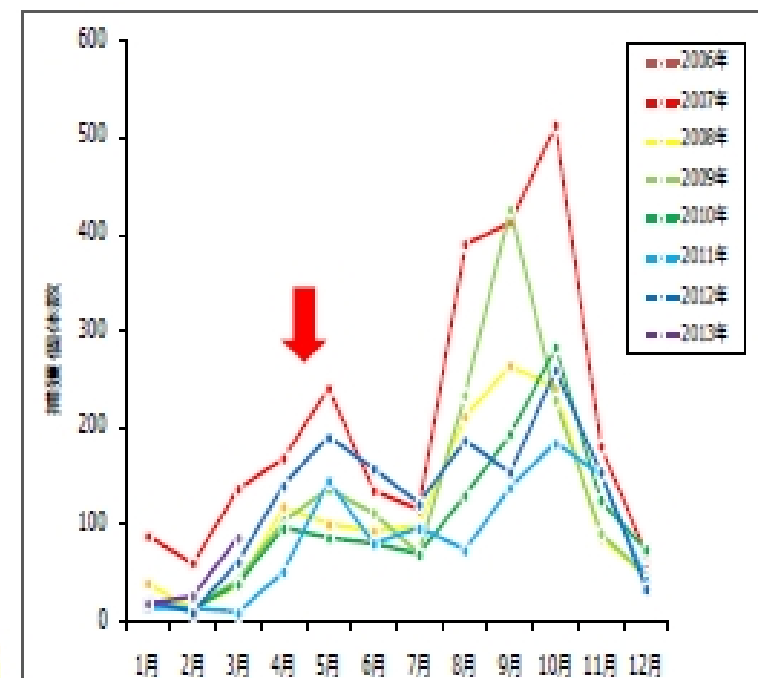
▼CPUEを比較（月ごと）。

- D5,E5,E6は約1年が経過。昨年に比べて減少。 → 防除の効果
- 他メッシュでも春の増加は抑えられているよう。
→ 初年の繁殖は抑制できなかったが、それも含めて年内に捕獲できた？
→ 春期防除の早期開始により繁殖を抑制できている？

兄島防除メッシュにおける月ごとCPUEの推移

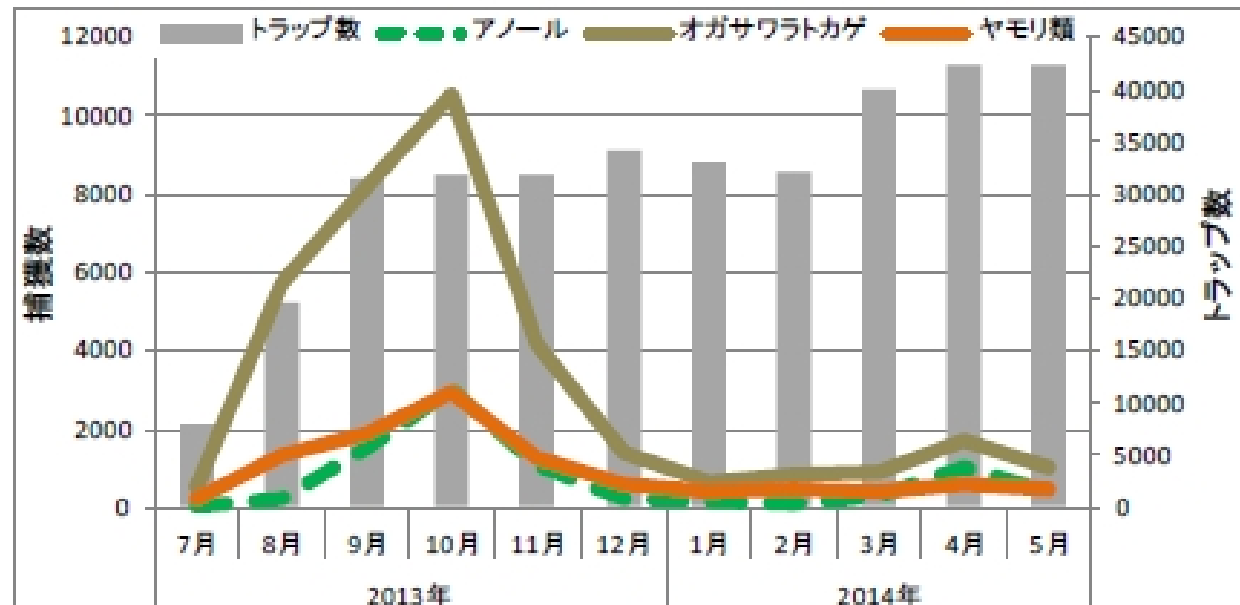


参考：父島港湾での捕獲個体数



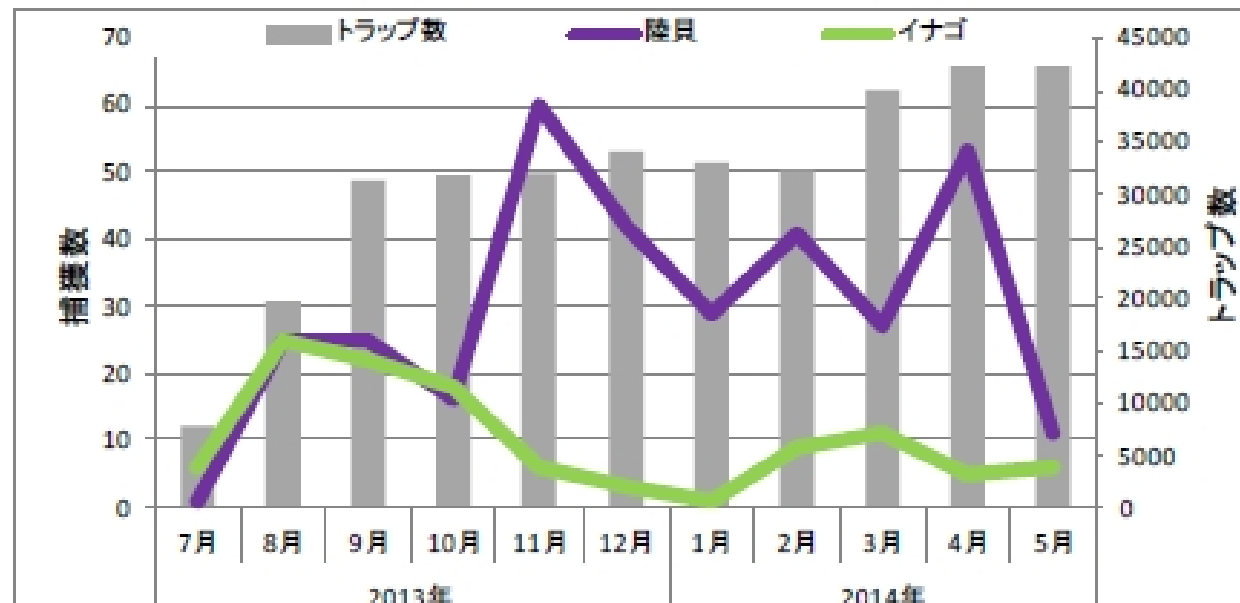
※ 捕獲努力量はほぼ一定

分析：目的外捕獲の状況



現在は
混獲による犠牲を払っても、ア
ノールの捕獲を優先している。

しかし、
混獲防止に向けた努力は継続中



オガサワラトカゲ	35,530
ヤモリ類	10,336
アニジマイナゴ	112
オガサフライトンボ	2
陸貝（生死区別せず）	330
ハシナガウグイス	1
メジロ	4

（2013年開始から2014年5月21日）

兄島グリーンアノール対策（現状の評価と今後の対応）

- ・ 整理したシナリオ③（Bライン以北に、飛び地的に検出された場合）に該当。
- ・ 今後、以下の点の方向性について検討、対策の実施を進める。

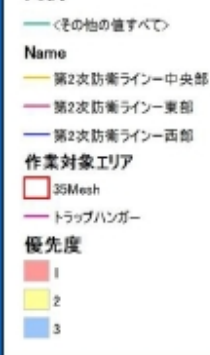
◆Cライン

- ・ 分布域拡大に備えた昆虫生息地を保全する
- ・ 弟島への侵入リスクを低減するための柵の設置について検討

◆囲い込み柵

- ・ 希少昆虫保全のための柵の設置についての検討

凡例



アノール検出

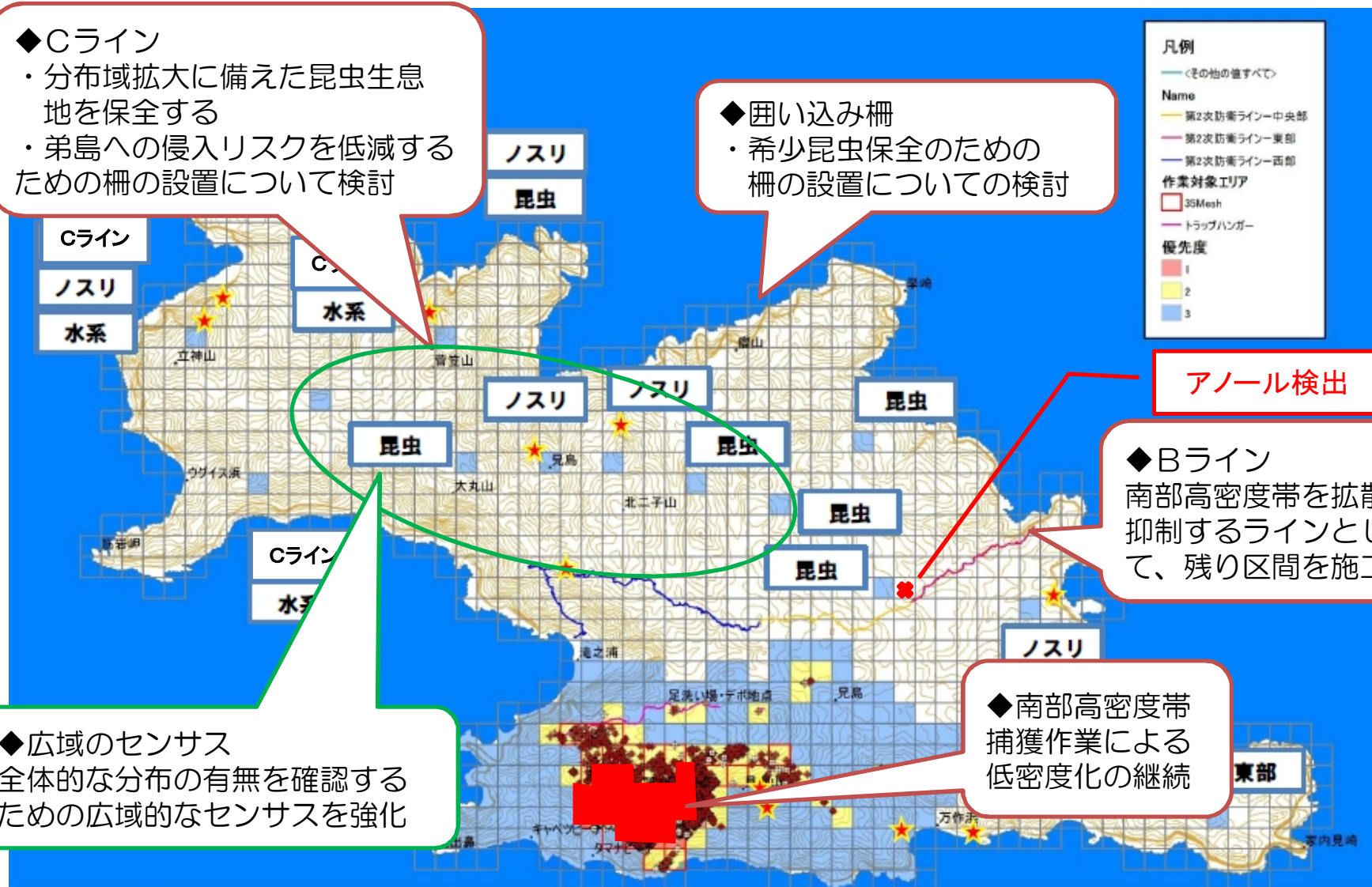
◆Bライン

南部高密度帯を拡散抑制するラインとして、残り区間を施工

◆南部高密度帯捕獲作業による低密度化の継続

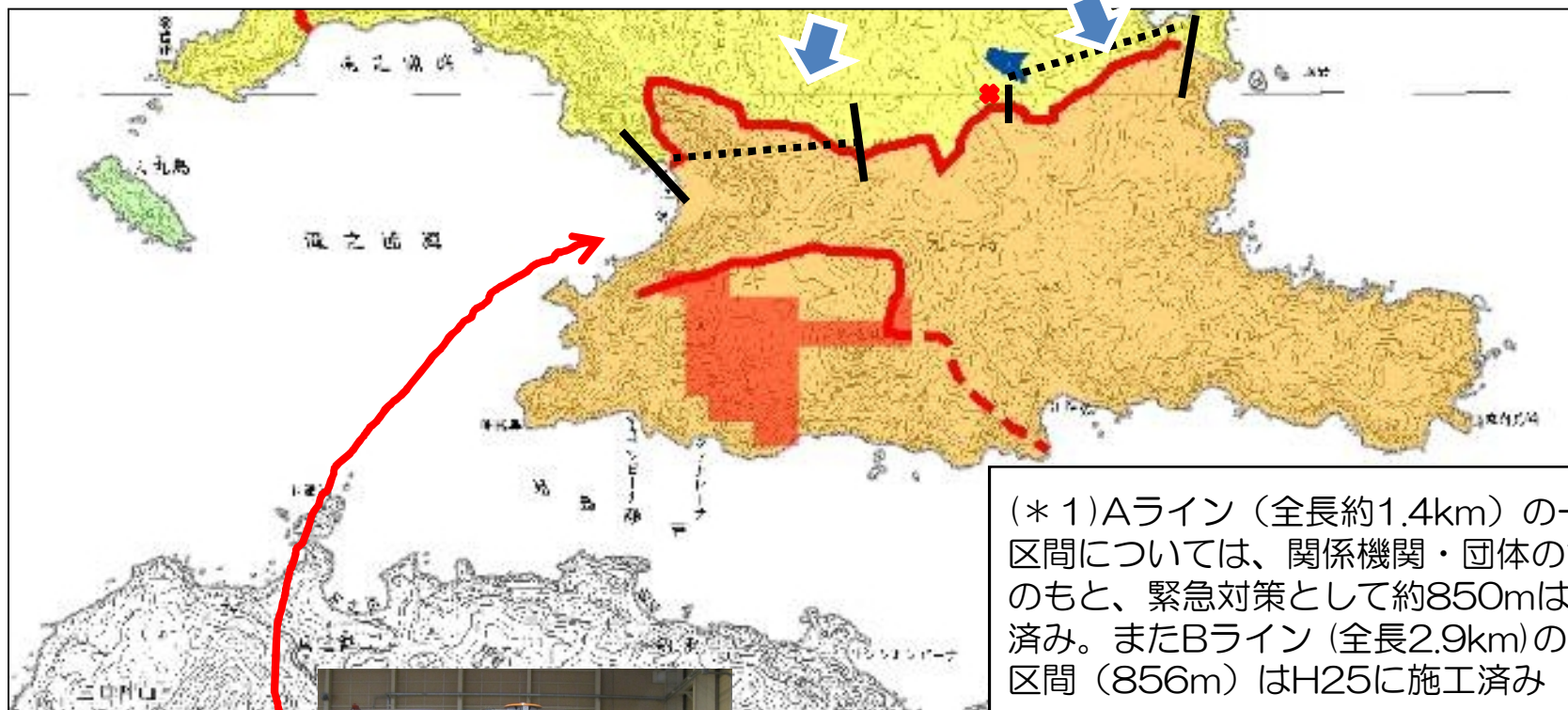
◆広域のセンサス

全体的な分布の有無を確認するための広域的なセンサスを強化



兄島グリーンアノール対策（今後の予定）

Bラインの一部区間
(H25年度工事の残り区間)
L=約2.1km (全長2.9km)



資材の運搬は、洲崎から
ヘリコプターにより行う

(※1)Aライン（全長約1.4km）の一部区間については、関係機関・団体の協働のもと、緊急対策として約850mは施工済み。またBライン（全長2.9km）の一部区間（856m）はH25に施工済み

(※2)グリーンアノールは、Aラインの南側に多く分布している。また、Bラインの北側にも一部確認されている。本工事は、アノールの高密度帯の北側への拡散を抑えるとともに、薄く分布しているアノールを効果的に検出し、捕獲を効率的に進めるためのもの。